

第51回入学式「学校長式辞」(要旨)

令和4年4月8日(金)

兵庫県立明石北高等学校長 藤原 生也

<新入生の皆さんへ>

緑さやけく、萌えたつ園、ここ松陰の丘に春の風が吹きわたり、桜の花びらが舞ううらかな空気に包まれる中、俳人高浜虚子が詠んだ句「春風や鬪志いだきて丘に立つ」のように、これからの高校生活に大きな夢と希望を抱き、強い意志を持って校門をくぐられたことでしょう。320名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。記念すべき北高51年目のスタートに立ち、本校のさらなる飛躍へのストーリーの主人公として、高校生活の第一歩を踏み出してください。今日からここは「私の高校」となりました。

本校での青春の3年間、以下の三つのことを希望します。

- (一) 自分に誇りと自信を、学校に誇りと愛着を持ってほしい。
- (二) 自分の可能性に限界をつけず、将来の夢や進路希望を実現するべく、それぞれ今の自分よりも上の高みを目指してチャレンジしてほしい。
- (三) とともに高みを目指す仲間の中で、自分と他者を比較し、落ち込んだり自分を卑下することなく、自分の強さも弱さも受け入れながら、「私の高校」で自分の居場所を作ってほしい。

本日の感激を忘れず、学習に、部活動に、思う存分持てる力を発揮して下さい。

<保護者の皆様へ>

お子様のご入学、本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。私達教職員は、全力で指導に当たって参ります。お子様の健全な成長と豊かな個性の育成に向けて、学校と家庭が連携を密にし、それぞれの役割を果たすとともに、相互に補完し合えますよう、本校に対するご理解、ご協力、ご信頼をお願い申し上げます。